

京都発!つなプロ

次世代と地域文化をつなぐ ミュージアムシンポジウム

2023年

3/11(土)

10:00~12:00(開場:9:30)

会場

キャンパスプラザ京都 第2講義室
京都府京都市下京区東塩小路町939

参加方法 会場参加またはYouTubeにてライブ配信

対象 ①博物館・美術館等関係者、学芸員を目指している方
②教育関係者・学校教員
③次世代育成、地域文化(地域の宝)、ミュージアムに関心のある方ならどなたでも

申込方法 専用申込フォームからお申込みください。

会場先着
200名様
無料

KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会では、令和2年度からミュージアムと学校が連携し、地域の子どもたちと共に、地域文化の継承、地域の文化資源の魅力を再発見するプロジェクト「つなプロ」に取り組んできました。これまで実施した宮津・亀岡・京丹後の取組を振り返るとともに、「次世代と地域文化をつなぐミュージアムの役割や課題」について参加の皆様と一緒に考えるシンポジウムを行います。

第1部「つなプロ」地域モデルの取組報告

宮津モデル

報告:京都府立丹後郷土資料館

地中に眠る宮津城跡
-学芸員と歩いて歴史探検、新たな魅力発見・発信-



亀岡モデル

報告:亀岡市文化資料館

八木城(神前北山城)を探検!



京丹後モデル

報告:京丹後市立丹後古代の里資料館

高龍小学校5年生Ryu Tuberが
ふるさとの古墳の魅力を発信してみた!



第2部「講演」

演題: 次世代と地域文化をつなぐAtoZ

講師: 塩見直紀氏(半農半X研究所代表、総務省地域力創造アドバイザー)

京都府綾部市生まれ。ミッションは「ことばで世界をデザイン」。半農半XやLocal AtoZ、1人1研究所社会、天職観光など提唱。近著「塩見直紀の京都発コンセプト88」(京都新聞出版センター、本年3月刊)



第3部「パネルディスカッション」

テーマ: 次世代と地域文化をつなぐために
ミュージアムに何ができるか?

モデレーター: 谷口知弘氏(福知山公立大学 地域経営学部教授)

工業デザイナー、大学教員、まちづくりコンサルタントを経て2016年より現職。ワークショップの専門家として、学生や地域の人々と協働型まちづくりの実践研究に取り組む。編著書に「はじめてのファシリテーション」(昭和堂)



パネリスト: 稲穂将士氏

(京都府立丹後郷土資料館 技師)

八木めぐみ氏

(亀岡市文化資料館 主幹)

新谷勝行氏

(京丹後市立丹後古代の里資料館 館長)

お申込み

お申し込みはこちらの専用フォームからアクセス
<https://sgfm.jp/f/f19e043899ccfd5afb6b1105a2b8587>



主催: KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会(事務局:京都府文化スポーツ部 文化政策室)

お問い合わせ先: 次世代と地域文化をつなぐミュージアムシンポジウム運営事務局(株式会社関広内)

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル時給屋町256番地 TEL:075-212-5221(担当:西浦)

Email: tsunapuro.museum@gmail.com

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

令和4年度 博物館機能強化推進事業 (Innovate MUSEUM 事業)



「つなプロ」の取組紹介

「つなプロ」では、地域のミュージアムが中心となり、次世代を担う子どもたちを対象に、自らの地域の文化資源を巡り、触れ、体験するツアーを実施しています。そして、子どもたちが体験をとおして学び、発見した成果をAからZを使った頭文字からキーワードを導いて解説する「AtoZ冊子」の形で発表しています。

宮津モデル

京都府立丹後郷土資料館



令和3年に実施。丹後地域の小学生・中学生・高校生が、今は地中に眠る「宮津城」の痕跡を江戸時代の絵図やCGをもとにたどり、宮津の魅力を発見しました。

つなプロホームページでは、宮津城のことを学び、実際に歩いて、体験する子どもたちの動画と「宮津城」AtoZ冊子を公開しています。



宮津城大手門 (CG制作 古川輝夫氏)



宮津モデル詳細はこちら

亀岡モデル

亀岡市文化資料館



令和3年に実施。亀岡市立青野小学校5年生が丹波三大山城の1つ「八木城」を探検し、自分たちの住む地域「青野」の魅力を発見しました。

つなプロホームページでは、八木城のことを学び、実際に探検し、山城の痕跡を見つける子どもたちの動画と創作劇、ふるさと「青野」AtoZ冊子を公開しています。



10人の青野ふるさと探検隊が行く「地域の魅力、再発見！」



亀岡モデル詳細はこちら

京丹後モデル

京丹後市立丹後古代の里資料館



令和4年に実施。京丹後市立高龍小学校5年生がふるさとの宝「湯舟坂2号墳」や「須田平野古墳」について、館と大学生と一緒に学び、魅力を発見しました。

古墳について学び、体験し、その魅力を高龍小RyuTuber (リューチューバー)として発信する子どもたちの動画とAtoZ冊子を近日公開。

今年度作成した京丹後モデルのAtoZ冊子は当日会場で配布します！
お楽しみに！

つなプロとは

「次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト」の略で、文化庁補助事業 (Innovate MUSEUM事業) の採択を受け、次世代を担う子どもたちを対象に、自らの地域の文化資源を巡り、愛着を深め、地域文化の継承を図ることを目的とした京都府と府内ミュージアムネットワーク (京都府ミュージアムフォーラム) の取組



つなプロ公式 HP はこちら
<https://museumforum.pref.kyoto.lg.jp/tsunapro/>



京都府ミュージアムフォーラム HP はこちら
<https://museumforum.pref.kyoto.lg.jp/>

キャンパスプラザ京都 第2講義室 京都市下京区東塩小路町939

交通アクセス：近鉄・JR・市営地下鉄「京都」駅から徒歩すぐ
※会場へは地下鉄等の公共交通機関をご利用ください。

